



端午の節句に作ろう!

紙粘土で作る

こいのぼりの飾り

紙粘土を丸くのばして二つに折るだけ。カラフルな色合いを生かして、かわいらしいこいのぼりを作ってみましょう。

制作 / 前田ヒバリー 写真 / 西山 航(本社写真部)



ねらい

- 紙粘土をこねる、丸めるなどの作業を通じ、手指の巧緻性の維持・向上を図る。
- 紙粘土の感触を楽しみ、感覚を刺激する。
- 行事制作で今を意識する一方、子どもの頃の懐かしい思い出を語り合うなどして、脳の活性化を図る。

● 材料

軽量紙粘土(赤、青、緑、白。100円ショップなどで購入できます) / スタンプインク(金) / 紙製コースター(黒) / 千代紙や和紙おりがみ

● 用具

はさみ / 鉛筆やペン、竹串やヘラなど / 黒ペン / 金ペン / のり / ボンド



配慮のポイント

「手のひらのふっくらしたところで、ギュッと押ししてくださいね」などの声かけを。



3 直径10cm、厚さ5mm程度になるよう2を手のひらで平たく伸ばす。



2 手のひらを使って1を団子状に丸める。

配慮のポイント

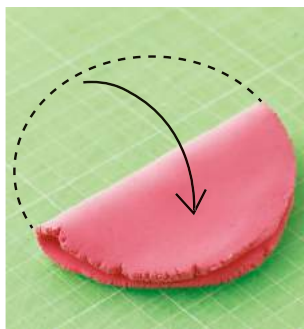
指先を使ってよくこねまじょう。紙粘土がのばしやすくなり、機能向上にもなります。



1 軽くひと握り程度の紙粘土をよくこねる。



6 5のふちをはさみで切り落とし、ふちをなめらかにする。



5 4を二つ折りにする。中央があんこで少しふくらんだ状態に。



4 白い紙粘土をよくこね、親指くらいの大ささ、長さにする。3のまん中に置き、「あんこ」にする。

10 写真を一例に、コースターに千代紙や和紙おりがみを貼る。



11 こいのぼりを置いてみて、位置が決まったらボンドで貼る。



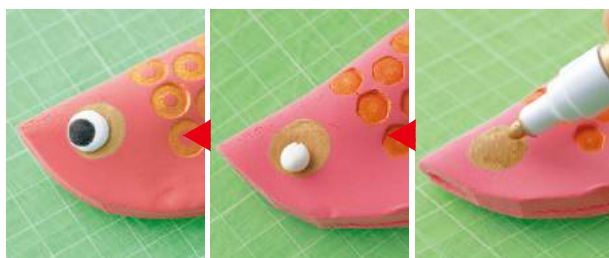
仕上げる



7 うろこをスタンプする。鉛筆やペンの尻にスタンプインクをつけ、紙粘土に少しくぼみができるくらい押し当てる。



8 しっぽの模様をつける。7同様、金色のインクをつけた竹串やヘラを押し当て、すじをつける。



9 目のあたりに金色のペンで直径1cmくらいの円を描く。インクが乾いたら、少量の白い紙粘土を丸めてのせ、つぶして黒目を描き入れる。全体を乾かす。

模様をつける